

【日韓交流事業2018】

朝鮮戦争停戦協定締結から65年

東アジアの平和に向けて、停戦協定を平和協定にかえよう！

南北・米朝首脳会談を支持・歓迎し 日朝対話の再開を求める7・17集会

本年2月に開催された平昌オリンピックに朝鮮は代表団を派遣し、南北関係改善の第一歩を踏みだしました。そして、4月27日には板門店の「平和の家」で南北首脳会談を開催し、民族和解と平和繁栄の新たな時代を果敢に切り開くため「板門店宣言」を発表しました。

6月12日には、シンガポールで朝米首脳会談が開催され、新たな朝米関係の確立と強固な平和体制の構築に向けて朝米共同声明文に調印しました。これは歴史的にも画期的なことであり、65年間続いた停戦状態を平和協定に転換させ、戦争状態を終わらせる出発点になります。

一方、日本では安倍政権が朝鮮民主主義人民共和国に対して制裁一辺倒の政策をすすめ、安保関連法（戦争法）の施行後、戦争のできる国家体制を推し進め平和憲法を9条3項に自衛隊を明記するなどの策動を強めています。

私たちは東アジアの平和を実現するため、日韓民衆が力を合わせて運動を広げていかなければなりません。そのような趣旨で下記の日程と内容で講演集会を開催いたします。

ぜひ参加ください。



▲共同声明に署名後、握手する朝米両首脳

日時 7月17日(火) 午後6時 受付 午後6時30分 開会
場所 エルおおさか708号 (京阪・地下鉄「天満橋」下車徒歩7分)
内容 講演「南北・朝米首脳会談の歴史的意義と今後の展望」
講師: 金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員
報告「8・15訪韓団」の取り組みについて
報告者: 山元一英 日韓平和連帯共同代表
資料代 1000円

主催 日韓平和連帯

問合せ先 全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部

TEL 06-6583-5549